

2010 (平成 22)

びらとり

9

No.598

伝統と未来を乗せて…



(8 月 22 日 チブサンケ)

今月号は…

- ・「未来処方」に係る道厚生局指導
- ・平取町にフレッツ光がやってくる
- ・地球に優しい「ペレットストーブ」
- ・長寿者番付表
- ・町のひろば
- ・教育委員会からのお知らせ
- ・すこやかだより
- ・図書館へいこう・・・ほか

「未来処方」に係る道厚生局指導 〜国保病院からの報告〜

はじめに

平取町国民健康保険病院は昨年12月、いわゆる「未来処方」に係る新聞報道がなされたことにより、今年の1月27日に北海道厚生局による個別指導を受けるに至りました。

その結果、診療内容と診療報酬の請求に関して適正を欠く事項が認められたため、現在、再指導と改善状況の確認を受けています。そして先頃、指摘事項に係る返還金額が確定しましたので、ご報告しますとともに、町民の皆様にご挨拶申し上げます。

返還金の財源について

平成21年12月までの6年間、そのほかのものは平成20年1月から21年12月までの2年間となつています。

返還金の財源等につきましては、8月18日の第6回町議会臨時会において議決をいただき、国保病院が町から10年間の長期借入を行い、返済していく計画です。

返還金は、今後数ヶ月にわたり社会保険診療報酬支払基金をはじめとする各保険者が、当院の毎月の診療報酬によって相殺することになります。

また、患者負担された診療費についても、一部返還すべきものもありますので、該当される方には改めて、ご連絡させていただきます。

指摘された事項

北海道厚生局により指摘された事項につきましては、未来処方に関するもののほか、特定疾患療養管理料及び特定疾患処方管理料など10項目です。返還額は443万2156円で、返還対象期間は未来処方関係が平成16年1月から

今後の対応

この度の件に関しましては、改めて町民の皆様にご挨拶

び申し上げ、再発防止に努めてまいり所存です。

また、今後の病院運営にあたりましては、病院全職員がこの結果を真摯に受け止め、深く反省し、公営病院としての存在意義を再認識して町民の立場に立った病院運営に努めてまいりますので、これからも当国保病院のご利用をよろしくお願いいたします。

「未来処方」とは：

投与日数に制限のある薬を、患者の求めに応じて、未来の日付を記した処方箋を発行して投与すること。例えば、外来患者の1回の受診で最大30日分しか出せない薬を患者がそれ以上希望した場合、30日分の処方箋と、それを超える日数分の処方箋を別に作成し、患者の希望日数分の薬を渡す。

◆これまでの経過◆

1. 北海道厚生局関係

平成21年12月3日 新聞社による「未来処方」の取材

平成21年12月9・10日 新聞報道

平成21年12月11日 北海道厚生局及び道保健福祉部担当者が、報道の事実確認調査のため来町

平成22年1月27日 北海道厚生局による個別指導が国保病院で実施

平成22年2月17日 北海道厚生局において、町長・病院長同席のもと個別指導実施結果を口頭及び文書で通知

平成22年3月30日 北海道厚生局に返還同意書を提出

平成22年6月21日 一部修正し、返還同意書を再提出

2. 町議会関係

平成21年12月16日 議員全員協議会で経過と今後の対応について報告

平成22年3月8日 議会に対して行政報告を行う

平成22年7月30日 議員全員協議会で確定事項等を報告

3. 病院関係

平成22年2月25日 「病院運営会議」で個別指導実施結果の概要を説明し、改善に向けて医師、看護師、事務局等院内全体の連携体制作りと「病院改善委員会」の設置等協議

平成22年2月26日 「平取町国民健康保険病院改善委員会」を設置

平成22年3月1日 第1回改善委員会開催。以後毎月開催

❖北海道厚生局の個別指導に係る返納金❖

1. 返納金額（保険者分） 44,362,156 円
2. 返納対象期間
 - ・ 未来処方に関する事項 平成 16 年 1 月～平成 21 年 12 月
 - ・ その他の事項 平成 20 年 1 月～平成 21 年 12 月
（一部事項については、短期間のものもあります。）
3. 適用となる法律
 - ・ 健康保険法
 - ・ 高齢者の医療の確保に関する法律
 - ・ 医療法
4. 診療報酬項目別返納金内訳

自主返納に係る事項	返金額（保険者分）	返 還 理 由
特定疾患療養管理料	31,424,265 円	カルテおよびレセプトに特定疾患に係る主病の記載がなかった。カルテに療養上の管理についての要点の記載がなかった。
特定疾患処方管理加算 （長期投薬加算を含む）		レセプトに特定疾患に係る主病の表示がされていないものについて算定していた。
特定薬剤治療管理料	437,280 円	カルテに薬剤の血中濃度、治療計画の要点の記載がなかった。
在宅療養指導料	481,780 円	カルテに医師の指示事項の記載がなく、看護師が指導した要点・時間の記載もなかった。
未来処方	4,812,204 円	1 度の受診で投薬の制限日数を超えた場合に 2 度受診したことにして処方していた。
無診療投薬	4,317,483 円	患者を診察することなく処方していた。
無診療理学 （物療・リハビリ）	1,483,270 円	患者を診察することなく物理療法・リハビリを行っていた。
胃瘻カテーテル	82,800 円	カテーテル交換後の画像診断等を行っていなかった。
療養病棟入院基本料	790,502 円	夜勤を行う看護要員 1 人当たりの月平均夜勤勤務時間が 72 時間を超えていた期間（4 ヶ月）が確認された。
栄養管理実施加算	532,572 円	管理栄養士が不在の期間（5 ヶ月）にも算定を行っていた。
合 計	44,362,156 円	



平成 23 年 3 月開通予定！

FLET'S 光

「フレッツ光ネクスト」 平取町にフレッツ光がやってくる

これまで多くの事前申し込みをいただきましたが、検討中の方も多いため、改めてのご案内をさせていただきます。

☆Yahoo!BBからメールアドレスを変えずにフレッツ光への移行は？

現在Yahoo!BBに加入している方がフレッツ光へ変更する場合でも、事前申し込みをすることが出来ます。フレッツ光に申込み後、工事が決定してから次のリンク先の説明どおりに進めることで、メールアドレスを変えずに移行することが出来ます。

事前申込みは、今後も継続して受け付けますので、希望される方はお早めに申込みください。

なお、申込者へNTTよりサービス開始前に確認の電話があり、NTTへ直接もしくは、家電量販店などの代理店で正式な申し込みをすることになります。

ただし、事前申し込みをされなかった場合、サービス開始まで数ヶ月お待ちいただくことがあります。

※一部継続できないサービスや料金体系など、詳しくはご確認ください。
<https://ybb.softbank.jp/member/hikariyf/index.php>

《事前申込・問合せ先》

平取町地域情報化推進協議会
(平取町役場まちづくり課内)

☎ 2・2222
FAX 2・2277

「特集」木質バイオマスエネルギー 地球に優しい「ペレットストーブ」

地球環境を守るために、温暖化ガス(CO₂)の排出削減が求められ、これまで町では、化石燃料に頼らない木質バイオマスエネルギーを利用した「ペレットストーブ」の導入を進めてきました。

☆灯油よりも価格が安定している
木質ペレット

木質ペレットとは、木くずを圧縮して弾丸状に成型した固形燃料です。化石燃料と違いCO₂を吸収する植物(間伐材など)を利用して作られるため、燃やしても温暖化ガスの排出量には積算されなく、環境にやさしい新エネルギーとして注目されています。

☆公共施設や事業所、一般家庭でも
普及が進む

町では、冬期間に役場内でペレットストーブの実演燃焼をして、来庁者から注目されました。また、無料モニター制度を実施することで、利用者からも好評を得ています。

☆平取町ペレットストーブ貸与事業

町の無料モニターの制度は、今年度が最終となりますので、ご希望される方は、10月4日までにお申込みください。また、9月30日には、ふれあいセンターびらとりにおいて専門家による講演を開催します。実際に何種類ものペレットストーブが見られますので、どなたでもお気軽にご来場ください。

《問合せ：まちづくり課企画係》

☎ 2・2222



役場内での実演燃焼

いつまでもお元気で長生きしてください

東

西

寿

平成二十二年

長寿者番付表

小結 渡邊とめ	関脇 賀集正義	大関 吉野キクノ	横綱 白瀬キヌエ
98歳 振内町	99歳 紫雲古津	101歳 本町	104歳 川向

小結 笹山ユキ	大関 井上シゲ	横綱 橋尾ちせ
98歳 苧菜	100歳 苧菜	103歳 貫気別

前頭二				前頭一		
坂本ヒナ子	賀集キミエ	田中育造	濱口キクエ	崎廣ミサヲ	清水宰知	福居武士郎
96歳 本町	96歳 紫雲古津	96歳 旭	96歳 苧菜	97歳 本町	97歳 貫気別	97歳 去場

前頭二				前頭一		
藤澤ツク	湯村ナツ	橋本スイ	安田とめ	船越智恵子	油谷みき	藤田シズエ
96歳 苧負	96歳 貫気別	96歳 苧菜	96歳 去場	97歳 本町	97歳 本町	97歳 紫雲古津

前頭四				前頭三		
山田ハル	木田ハル	木村末四郎	鹿野幸蔵	平村上男	尾友ユキエ	市橋伊佐枝
94歳 本町	94歳 去場	94歳 芽生	94歳 二風谷	94歳 二風谷	95歳 本町	95歳 苧菜

前頭四				前頭三		
田畑節	及川タツミ	中原ハル	石谷清	加賀屋ミサヲ	中島キクノ	柳せん
94歳 本町	94歳 振内町	94歳 苧菜	94歳 豊糠	95歳 芽生	95歳 本町	95歳 振内町

前頭六				前頭五			
中田こはる	川端寛二	山田ハル	車無田勇二	伊藤次郎	窪田はる	水正壽々美	原田ヤイ
92歳 本町	92歳 岩知志	92歳 本町	92歳 幌毛志	92歳 本町	92歳 本町	93歳 振内町	93歳 苧菜

前頭六				前頭五			
松永ミツエ	葛野ヨシ	佐藤ハツエ	佐々木長興	菅原喜美子	平村きみ子	沖野コト	山際イク
92歳 旭	92歳 本町	92歳 振内町	92歳 小平	92歳 苧菜	92歳 本町	93歳 本町	93歳 貫気別

前頭八				前頭七			
貝澤しづ	水澤リツ	川端千代子	水野フミ	伊藤喜久男	榊田正雄	福澤ハスエ	藤田光男
90歳 二風谷	90歳 本町	90歳 岩知志	90歳 紫雲古津	90歳 岩知志	90歳 貫気別	90歳 振内町	90歳 紫雲古津

前頭八				前頭七			
伊藤千代子	高瀬ミヨ子	川上トミエ	松崎嘉枝	奥村フジ	齋藤ミツ	小林善直	今村ミキ
90歳 岩知志	90歳 芽生	90歳 岩知志	90歳 二風谷	90歳 振内町	90歳 本町	90歳 本町	90歳 本町

※ 9月8日現在に平取町に住む85歳以上の方の人数

男性 81人 女性 170人 計 251人

平成22年9月8日現在 (敬称略)

町のひろば



森のフィールドを体験

ニセウ「げんきの森」(8/6)

町林業振興対策協議会が主催する「げんきの森」が仁世宇で開催されました。当日は猛暑のなか、町内の小中学生 74 名が参加しました。

数名のグループに分かれ、午前中は森林散策でのクイズに悪戦苦闘し、お昼には自分たちで釣ったヤマベを食べました。

そして、午後からはパズルクラフトに挑戦。1 枚の輪切り材に設計図を描きパズルを作り、森の動物たちなどを作成しました。

参加者は思い思いに想像を膨らませ、沢山の作品と夏休みの楽しい思い出を作ることができたようです。

あの岡田元監督が来町 !!

「トマト大使」岡田武史氏 (8/9)

びらとりトマトと町をピーアールしようと昨年 9 月に委嘱された 6 人の「トマト大使」の 1 人、岡田武史氏（元サッカー日本代表監督）が来町しました。

町長からトマト大使のネームプレートを受け取り、「W 杯では応援ありがとうございました」とお礼を述べ、自身の近況や、町のことなどを話しました。

岡田氏はトマトジュース「ニシパの恋人」のファンで「毎朝飲んでます」とのこと。「選手たちにも飲ませたら好評でした」など、各方面でピーアールいただいているようです。

町長室を出ると、待っていたファンとの記念撮影やサインにも気持ちよく応じてくださいました。



振内に新しい仲間が増えました

ふるさと親子留学 (8/17)

平成 16 年から始まった振内地区のふるさと親子留学に、7 家族目となる橋本さん親子が京都府宇治市より引っ越して来られ、この日、町長室を訪れました。

平取町の感想を伺うと「とにかく皆さんの人柄が温かい。最初、牛や馬を目の当たりにして驚きましたが、自然溢れるところも魅力」。初めて来町された時に、すぐに気に入られたそうです。

これから、帆望海さん（中学 2 年）、萌ちゃん（小学 3 年）には、自然の中で伸びやかに学んでもらいたいと思います。



都会っ子の田舎体験記

地域づくりインターン報告会 (8/23)

都市部の大学生を対象に、町内に滞在し様々なプログラムを体験する「若者の地方交流（地域づくりインターン）事業」に、今年は立教大3年の光悦子さんが参加されました。

光さんは、トマト農家や民宿の手伝いをしたり、チッサンケに参加したりと忙しいスケジュールの中、アイヌ文化に強い関心を持ったようでした。

最後の報告会では、「町民ネットワークの強さを感じた。エコツーリズムを推進してはどうか」など、若者らしい感想や提言を聞かせてくれました。



生のきくらげを味わって

平中二八きくらげの会 (8/26)

町内の全小中学校の児童生徒に食べてもらおうと、「平中二八きくらげの会」（奥野 均代表）から校長会の高松匠会長（荷負小学校長）に新鮮なきくらげが手渡されました。

会は平取中学校を昭和28年に卒業した同級生で結成されて3年目。出荷も軌道にのり、町の新しい特産品を目指しています。

この生きくらげは9月3日の給食で、中華丼として供されました。



パスウォーカーが集合

第13回全道フットパスの集い (9/4・5)

全道フットパスの集いが、同びらとり実行委員会の主催で、仁世宇地区周辺の森林で開催されました。

子供からお年寄りまで、パスウォーカー約100人が集い、フットパス用に整備された「シカの森コース」「けもの道とクロムコース」を2日間で歩きました。

参加者には常連も多く、「参加するたびに仲間ができて、一緒に歩くのも楽しみ」と歩く以外の楽しみを見つけた方もいたようです。みんな、フットパスならではの小径な道を歩き、びらとりの雄大な自然をじっくりと満喫していました。



戦後65年を偲んで…

戦没者追悼式 (9/5)

あの熾烈を極めた大戦に、平取町から出征し、尊い命を失われた206名。平和塔前で、ご遺族や来賓ら75名が参列して「平取町戦没者追悼式」が執り行われました。

戦後65年経った今も、ご遺族の深い悲しみが変わることはないでしょう。参列者は、戦没者の御霊に対し、白い菊の花と共に哀悼の誠を捧げ、恒久平和を祈念しました。

教育委員会からのお知らせ

びらとりっ子全道大会で活躍！全国へ羽ばたく！

北海道中学校体育大会（中体連）全道大会の結果

中体連の全道大会は7月25日の陸上・相撲競技を皮切りに8月上旬に開催されましたが、今年度は、町内の中学校から4競技種目（陸上・バスケットボール・柔道・バドミントン）31名が出場しました。その結果、次のとおり個人戦、団体戦において上位入賞という優秀な成績で、中でも貫気別中学校の木村尋斗くんは全道大会準優勝を修め、見事全国大会への切符を手に入れました。全国大会は8月20日岡山県で行われ、結果は2回戦で敗退となりましたが、全国の大舞台で戦う、暑い熱い夏となりました。

平取町の未来を担う中学生の皆さんが、全国・全道大会に出場し、自信や誇りを持つことは素晴らしいことだと思います。これからも額にさわやかな汗を流し、それぞれのスポーツ活動・文化活動を歩み続けて下さい。

〔競技種目〕 【柔道】

男子団体戦 第3位 平取中学校

男子個人戦 準優勝 55キロ級 西野 匠（平取中学校）

【バドミントン】

女子団体戦 第3位 平取中学校

男子個人戦 シングルス 準優勝 木村尋斗（貫気別中学校）



全国大会出場を決めた木村くん



「教職員の資質向上と生徒の確かな学力の向上」を重点目標に

～平取中学校（公開授業研究会 11月11日に）～

平取中学校では、1年生41名、2年生40名、3年生53名、合計134名の生徒が、日々学習や様々な学校行事、生徒会活動、部活動等に元気一杯取り組んでいます。昨年度からの改修工事により校舎内が生まれ変わりました。今年は、太陽光発電システム工事と体育館の改修が行われています。

さて、平取中学校は、昨年度から2年間の日高管内研究実践校の指定を受け、「生徒理解を通して、基礎基本を身につけ、自ら学ぶ意欲を育む学習指導のあり方」を研究主題に、授業改善に取り組んでいます。具体的には、T・T（チーム・ティーチング）、少人数指導、コース別学習等の指導体制の工夫や、グループ学習・ペア学習等学習形態の工夫、学習の取り組み方の指導等を実践研究しています。

現在3年生の数学と英語をT・Tで行っていますが、生徒一人一人への支援を効果的に行うにはどうしたらよいか、日々研究を重ねています。

今年度は、重点目標を「教職員の資質向上と生徒の確かな学力の向上」、実践キーワード（校訓）を「自学自立」（希望、努力）、「自他敬愛」（挨拶、感謝、思いやり）と設定し、「始めよう！繋げよう！」を実践スローガンに掲げました。そして、2年間の研究の成果を、11月11日（木）に公開授業研究会を行って発表します。教職員全員で知恵と力を出し合った成果を保護者・地域の皆様にも是非見ていただき、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。



お馴染みのアニメと音楽の芸術性に感動！～わくわく感動体験ツアー

平取町人づくり事業実行委員会では、町民に一流スポーツや芸術に触れる機会を持ってもらい、豊かな感性と感動する心を引き出す「わくわく感動体験ツアー」を年数回開催しています。今回2つのツアーを開催しました。

＜スタジオジブリ・レイアウト展＞ 札幌芸術の森 7月26日（月）

背景やキャラクターの位置、撮影方法などを監督自らが細かく書いた「レイアウト」と呼ばれる鉛筆画27作品1,300点が勢揃いした作品展などを15名の参加で鑑賞しました。「アルプスの少女ハイジ」から最新作までお馴染みのアニメができる様子を目にして、その緻密さに感心した様子でした。

ほかにたくさんの野外美術作品や工芸館などがあり、緑豊かな広い園内でそれぞれ作品鑑賞を楽しんでいました。

＜アキラさんの大発見コンサート2010＞ コンサートホール kitara 8月10日（火）



「小さなお子さまをはじめてのコンサートに！」との企画で毎年開催され、このツアーに参加した26名（なんと最年少は2歳の女の子！）は札幌交響楽団の迫力ある生の演奏に耳を傾け、時にリズムに乗りながら“音を楽しむ”ひと時を過ごしました。テレビではしゃべらない指揮者宮川彬良さんのコミカルなおしゃべりや札幌合唱団の美しい歌声を満喫しました。

また、なかなか見ること聴くことのない楽器紹介のコーナーもあり、参加者はまさに「大発見!!」の連続だったようです。

「秘境シルクロード・タクラマカン砂漠探検講演」～三大学合同学習会

ふれあいセンター視聴覚ホール 7月27日（火）

振内高砂大学、貫気別明生大学、平取義経大学の計58名の出席により三大学合同学習会が開催されました。北見市在住の坂東招造氏（84歳）が2004年、前人未到のタクラマカン砂漠中央部、北緯39度線上の約1,200kmをラクダを連れ、完全横断を達成した内容の講演がされました。

ビデオやスライド写真により、世界初となる偉業を成し遂げた様子が詳しく紹介され、探検の過酷さと達成感を聞き感じ取ることができました。坂東招造氏の迫力ある体験談を学生は真剣な様子で聞いていました。



いかだ体験、海水浴を楽しみました～平成22年度わくわく自然体験スクール

北海道立洞爺少年自然の家（ネイパル洞爺）、有珠海水浴場

8月2日（月）～4日（水）



町内の小学5年生を対象とした自然体験学習を2泊3日で行い、3校から19名が参加しました。豊かな大自然に恵まれた洞爺湖畔にある北海道立洞爺少年自然の家を拠点に、いかだ体験、キャンドルづくり、野外炊飯、海水浴等の活動を通じ仲間と協力する思いやりの心を育み、自らチャレンジする力を培いました。

3日間とも天候に恵まれ、予定していた活動を行うことができました。子ども同士の交流を深めながら、夏休みの良い思い出をつくることができたようです。

なお、「わくわく自然体験スクール」は、故森武雄氏の寄付金を充てて開催されている事業です。

教育委員会からのお知らせ



「頂上を目指して・・・！」～小中学生登山

様似町 アポイ岳 7月29日(木)

登山を通じて体力及び協調性の向上を図るとともに、仲間作りや自然体験を目的に小中学生登山が実施されました。

参加者は小学生5名と少ない人数でしたが、今年は、様似町のアポイ岳(810.6m)に挑戦しました。汗だくになりながらも、後半は傾斜がきつい岩場を這って登り、ひとりもリタイアすることなく全員が頂上にたどり着きました。

濃霧のためアポイ岳からの景色を楽しむことはできませんでしたが、心配された天候も何とか持ちこたえ、無事に下山することができました。

下山後は登山道入口の近くにある「アポイ山荘」で入浴し、約5時間歩き続けた汗と疲れを流し、帰途につきました。



各スポーツ少年団の大会結果

平取義経剣心会スポーツ少年団

第48回オホーツク圏青少年剣道大会

期日 平成22年8月1日(日)

場所 紋別市スポーツセンター

成績 団体戦【小学生低学年の部】優勝

(木村有稀・小山和馬・木村裕斗・木村朱稀・小山椎名)

個人戦【小学生の部】第3位 小山哲汰

第31回全日高社明剣道大会

期日 平成22年8月22日(日)

場所 浦河町ファミリースポーツセンター

成績 団体戦

【小学生低学年の部】優勝：木村朱稀・木村 萌・小山和馬

【小学生中学年の部】優勝：木村有稀・木村裕斗・小山椎名

【小学生高学年の部】優勝：木村一稀・伊藤 創・小山哲汰

【中学生の部】第3位：互野友裕・川島加代

個人戦

【小学生低学年の部】優勝：小山和馬 第3位：木村朱稀

【小学生中学年の部】優勝：小山椎名 準優勝：木村有稀

【小学生高学年の部】準優勝：小山哲汰

【中学生女子の部】第3位：川島加代



平取野球スポーツ少年団

第29回義経杯争奪日胆少年野球大会

期日 平成22年8月14日(土)

場所 みどりが丘公設グラウンド

成績 優勝 平取野球スポーツ少年団 A

最優秀選手賞 原田 脩(平取野球)

打撃賞 水野 潤(平取野球)

貫気別バドミントンスポーツ少年団

第28回全日本ジュニアバドミントン選手権大会 苫小牧地区予選会(中学新人の部)

期日 平成22年7月17日(土)

場所 苫小牧市明倫中学校体育館

成績 【中学男子シングルス】

優勝 二谷優吾

にぶたに湖右岸の森林を観る

二風谷の沙流川右岸に続く山地林は、急斜面のレキ岩層に当たる部分が浸食されず崖になっています。そのうち、特徴的な崖面や奇岩には、昔から住む人たちによって多くの意味合いが与えられ、北海道有数のアイヌ伝承地として今日に語り継がれてきました。

特徴的な景観地としては、ウカエロシキ（互い・上・そこに・立つ）とオプシヌプリ（穴をあける・山）があります。双方ともオキクルミカムイ（アイヌにあらゆる生活の方法を教えたとされる文化神）が活躍したとされる場所で、カムイの世界を想わせる神秘的な雰囲気に満ちています。

周辺の林相は、町有林と国有林で違いがみられます。町有林は現在、イオルの森として整備された落葉広葉樹林で、地域住民が利用し、育んでいくための森として活用されています。近代以降、沙流川流域で行われてきた林業の中で樹木が皆伐され、針葉樹が消失していったという歴史的背景がある森です。現在ではコナラ、エンジュ、ハシドイ、ミズキなどが繁茂しています。



アイヌ伝承地 ウカエロシキ

一方で国有林の方は落葉広葉樹とトドマツによる針広混交林になっています。森林伐採が皆伐ではなく、抜き伐りによって行われたため、本来の林相が損なわれなかったのです。

アイヌの伝統を育み、物語の舞台となってきた元々の森の姿といえるでしょう。

山林の間にはいくつもの沢が流れ、沙流川に注いでいます。沢の名前は地域の人たちにとってなくてはならない生活の一部でした。ピンニ（ヤチダモ）、オクマウシ（沢尻に物干し竿のある沢）、ルオマナイ（道に入る沢）といった沢名を付けて、特徴的な植生や生活の様子、山越えの道などを知るために活用していたのだと思います。アイヌ語地名は、かつての生活環境や知恵を読み解くための重要なキーワードといえます。



にぶたに湖右岸に広がる山林

平取町教育委員会では、様々な魅力をもつ地域の景観を今後も末永く守っていきたいと考えています。なお、10月15日から二ヶ月間、二風谷アイヌ文化博物館特別展として「アイヌ伝承地を観る - 沙流川流域の文化的景観めぐり -」を開催致します。たくさんのご来場をお待ちしております。

すこやかだより

ー保健福祉課ー

～認知症介護者の心構え～

現在、およそ200万人以上の認知症の方がいると言われています。今後、2020年には292万人になると予想されており、認知症患者の増加に伴い、自宅で介護する方も年々増えています。

■まずは認知症を理解する

認知症患者の介護には、何度何度も同じことを尋ねられる、一生懸命に介護をして、一言を吐かれ感謝の気持ちを示してもらえないなど、一般の介護にはない多くの大変さがあります。介護者の精神的なストレスを少なくするためにも、なぜそのような対応や行動をするのか、認知症について理解することが大切です。

■できる限り介護を楽に

認知症患者を家庭で介護する場合、精神的、身体的に様々な負担を伴います。一人で抱え込まずに、できるだけ楽にすることが介護を長く続けるための秘訣です。それには、次のような対応が必要です。

①認知症の方の介護のポイントを理解しましょう

認知症患者の行動は、性格や環境など個性が大きいいため、介護の方法も一様ではありません。

しかし、介護者の体験が蓄積されてくると、少しずつ適切な対応が見え始めてきます。一般的にいわれている対応の仕方や、すでに介護をしている方や終えた方の話を参考にして、いろいろ試してみてください。うまくいった方法がその家庭にとっての正しい方法です。

②周囲の方の協力を得ましょう

介護を一人で背負わず、家族や親類、近所の方に協力を頼んでください。

特に近所の方たちは助けになります。認知症患者に徘徊がある場合には、一人で歩いている姿を見かけたとき、連れて帰ってくれるなど協力してくれるでしょう。

③気軽に相談できる人を持ちましょう

認知症患者の定期健康チェックや、認知症の経過など気軽に話を聞けるような、かかりつけ医をもつことが大切です。その他、保健師やほ

ほえみ（地域包括支援センター）スタッフ、民生委員など、一人で悩まないで相談してみましょう。

④いろいろなサービスを上手に利用しましょう

介護者の中には、他人には迷惑をかけられない、恥ずかしいという気持ちで、家族だけで問題を解決しようとする場合も少なくありません。

しかし、そういう追い詰められた状態では、介護は決してうまくいきません。いろいろなサービスを上手に利用して、ご自身や家族のことにも目を向けられるゆとりを持つようにしてください。

■健康に気をつけましょう

家庭で介護を行う方は、腰痛や疲労感、不眠に悩まされ、腹が立つ、不安など心身共に疲れ果てることもあるかもしれません。心も体も健康な状態で介護を続けるために、無理や我慢をしないで、いろいろなサービスを利用したり、医師などに相談し、ストレスをためないよう体調管理に気をつけてください。

介護は、1日や2日で終わるものではありません。常に

完全な介護を目指していると、体力も精神力も尽きててしまします。介護は、ベストではなく、ベターを維持していくことが大切です。そして、明るい気持ちを持て失わず「この状態は決して長くは続かない」と自分に言い聞かせて、最後まであきらめないようにしましょう。

■お知らせ

「もの忘れ外来」：国保病院で月1回行っています。9月の診療日は30日となっていますので、もの忘れで困っている方、本人の自覚がなくても周囲がおかしいと感じる方は、お気軽にご相談ください。

「青空の会」：保健推進係では、認知症介護者の集いを奇数月に実施しています。介護者の方はぜひご参加ください。

〈問合せ〉
平取国保病院 2・2201
保健推進係 4・6111



図書館へいこう

☆開館時間

火～金曜日 10:00～18:00

土・日曜日 10:00～17:00

☆休館日

月曜日休み、月曜日が祝日の場合は
月曜日と翌日が休みとなります

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

※□は休館日です。

It's New! 新しい本が入りました

ここに掲載されたもの以外にも、たくさんの
本がありますので、お気軽に図書館（☎ 4-6666）
までお問合せください。

あなたの一冊のお手伝いをします。

【家庭・生活・趣味】

『日本の食材帖実践レシピ』

／吉田企世子

『旅して見つけて、
我が家の定番になった
地方ごはん』

／渡辺あきこ

『散歩で暮らしてエコな
手づくり雑貨』

／蔭山はるみ

『1人分が得意！

トースタークッキング』

／葛 恵子

『見直し以前の「いる保険」

「いない保険」の常識』

／清水香



—読書の秋！秋の夜長は、じっくりと、
読みごたえのある小説をどうぞ。—

『終わらざる夏』上・下／浅田次郎

『三千枚の金貨』上・下／宮本輝

『悪の教典』上・下／貴志祐介

『炎天の雪』上・下／諸田玲子

『天海の秘宝』上・下／夢枕獏

『祈る時はいつもひとり』上・下

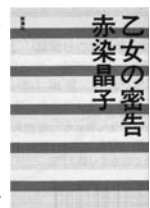
／白川道

『乙女の密告』／赤染晶子

※第143回芥川賞受賞作。

『小さいうち』／中島京子

※第143回直木賞受賞作。



『トムラウシ山遭難はなぜ起きたのか』

／羽根田治

『電子書籍元年』／田代真人

『「デフレ」がわかると経済の
動きが読めてくる！』

／鈴木雅光



●図書館からのひとこと●

図書館でできるこんなこと…貸出③

借りた本を図書館に返すときは、カウン
ターで本を戻せばOK。利用者カードがなく
ても大丈夫です。

図書館が休みのときは、ふれあいセンター
の正面玄関横の、返却口（ブックポスト）に
入れてください。DVDやCD・ビデオは、
なるべくカウンターで返してください（ケー
スや中身の破損を防ぐためです）。

遠方の方は、振内・貫気別両支所の窓口及
び毎月運行している「図書ワゴン」に返して
いただいてもかまいません。

図書ワゴン（移動図書館車）運行日程[10月]

10月は下記の日程で巡回します。

不要になった本の寄贈も受け付けています。

10月7日（木）【貫気別地区】

11:00～11:30 荷負 遠藤和江さん宅前

11:45～12:30 貫気別生活館

12:45～13:15 芽生生活改善センター

13:30～14:00 旭生活館

10月8日（金）【振内地区】

11:30～12:00 振内町民センター

12:00～12:30 山の駅ほろしり館

12:45～13:15 岩知志ふれあい館

13:45～14:15 豊糠生活改善センター



■第23回 幌尻まつり（8月1日 振内鉄道記念公園）
今年も幌尻太鼓が力強く会場内に響き渡りました。

短歌教室詠草

植え終えし田毎の月はゆれており

眠そうな蛙の声も聞こゆる

良い日和野菜の草取り追肥もと

汗を流して夏の一日を

我が家よし帰り来たればうぐいすと

庭のラベンダーむかえてくれぬ

「はやぶさ」は七年の旅乗り越えて

最後の写真は青い地球よ

嫁ぎ来て頼りとするは只一人

生涯かけて吊う日々よ

大好きな孫の好物は焼肉よ

平取和牛で笑顔をもたおう

原田 ヤイ

市橋恵美子

中沢三三子

相田のぶ子

高橋 洋子

中原千鶴子

町の人口

人口	5,666	(2)
男	2,731	(▲ 5)
女	2,935	(7)
世帯数	2,599	(▲ 2)
外国人登録数	127	

() 内は前月比 8月末現在